Operation Guide 3130

CASIO

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。
※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>



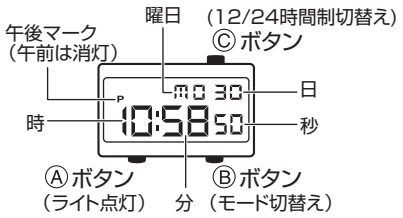
<Bタイプ>



操作のしくみと表示の見方

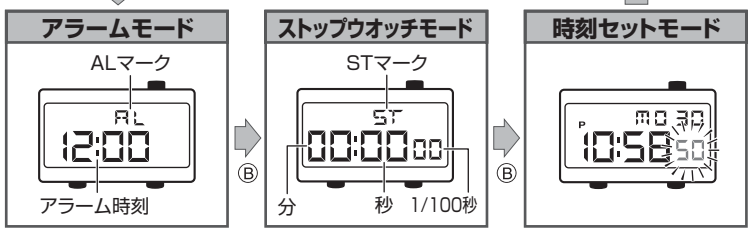
Ⓑボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります（押すごとに確認音が鳴ります）。
※アラームモード、時刻セットモードのまま1～2分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。
※各モードでⒶまたはⒸボタンを押した後、Ⓑボタンを押すと、時刻モードに戻ります。

時刻モード



★12/24時間制表示切替え
Ⓒボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後 "P"）と24時間制表示 "24H" とが切り替わります。

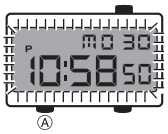
Ⓑ



Ⓑ

■ライト点灯について

Ⓐ ボタンを押すとライトが点灯します。

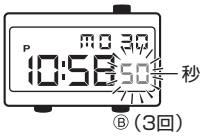


<ご注意>
- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

時刻・カレンダーの合わせ方

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

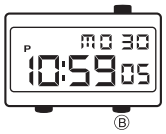
月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。



1. 時刻表示のときに、Ⓑボタンを3回押すと「秒」が点滅します。
2. 時報に合わせて、Ⓒボタンを押すと「秒」が00秒からスタートします。
   ※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



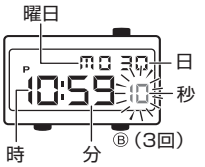
> 秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって、00秒からスタートします。



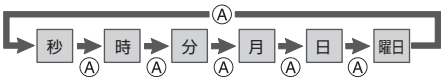
3. 秒合わせが終わりましたら、Ⓑボタンを押すと時刻表示に戻ります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻･カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。



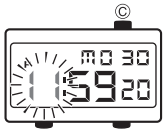
1. 時刻表示のときにⒷボタンを3回押すと「秒」が点滅します。
2. Ⓐボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、セットしたい箇所を点滅させます。
   ※Ⓐボタンを押すとライトも点灯します。





3. 点滅箇所が秒以外のときは、Ⓒボタンを押すごとに1つずつ進みますので、セットしたい数字を表示させます。
   ※Ⓒボタンは押し続けると早送りができます。

> Ⓐボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓒボタンで表示をセットする操作を繰り返し行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
> ※「時」のセットのとき午前／午後（Pマーク点灯）、24時間制（24Hマーク点灯）にご注意ください。



4. セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押して点滅を止めます。
   ※時刻セットのときに表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まります。
   ※カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーです。うるう年の2月29日以外は修正不要です。

アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがってⒷボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。
また、毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子音で知らせる時報もセットすることができます。

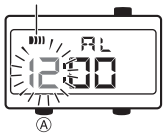
<アラームモード>

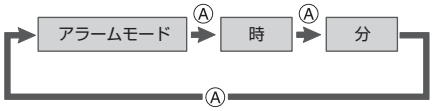


■アラームのセットのしかた

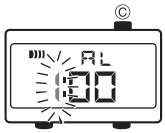
1. アラームモードで Ⓐ ボタンを押すと「時」が点滅し、アラームONマークが点灯します。
このときⒶボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので Ⓐ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させます。
※Ⓐ ボタンを押すとライトも点灯します。

アラームONマーク

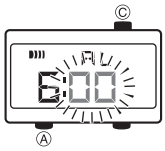




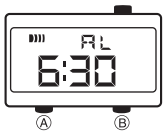
2. 点滅箇所の表示数字が Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。
※Ⓒ ボタンは、押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前／午後にご注意ください。
※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。



3. 「時」のセットが終わりましたら、Ⓐ ボタンを押すと「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様な操作で合わせたい「分」を表示させます。

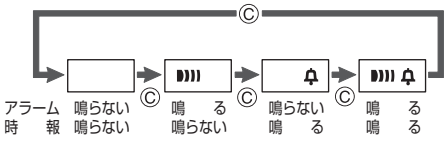


4. セットが終わりましたら、Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます。
※Ⓑ ボタンを押すと時刻モードに戻ります。
※アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まります。



●アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのとき、Ⓒ ボタンを押すごとにアラームONマーク（))))）、時報ONマーク（🔔）が以下の順で点灯・消灯を繰り返します。各マークとも点灯しているときがONで、アラーム・時報が鳴ります。



時報ONマーク



アラームONマーク

※アラーム・時報を鳴らさないときは、各マークを消しておきます。

●鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、Ⓐ ボタンを押します。

●モニターアラーム

アラームモードで Ⓒ ボタンを1～2秒押し続けると、電子音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがってⒷボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

Ⓒ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。計測中 Ⓐ ボタンを押すと表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測（スプリットマーク点灯）となります。
※Ⓒ ボタンを押すと操作確認音が鳴ります。
※Ⓐ ボタンを押すとライトも点灯します。
※計測中にⒷ ボタンを押してモードを切り替えても、計測値には影響ありません。

<ストップウオッチモード>
（スプリット計測中）

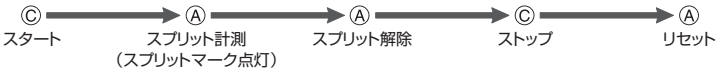


●通常の計測



※積算計測… ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓒ ボタンを押す）すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



●1着・2着のタイム同時計測

